

1年次で「芸術鑑賞教室」を実施，AALの具現化！

◆今号の記事は、1年次主任の岡野英輝先生が書いてくれました。

10月5日(金)，1年次では「**芸術鑑賞教室出前講座**」として，**弦楽器のヴァイオリン，ヴィオラ，チェロの合奏**を鑑賞しました。会場は本校実践室でした。先生方の一人山崎響子先生はつくば市出身のヴァイオリニスト。しかも，本校の前身である**並木高校を卒業**されたということで，今回の講座開催をとっても楽しみにしてくださっていたそうです。コンサート衣装に身を包んだ先生方の**弦楽四重奏**は，音色がとても美しく，多くの生徒たちの心を魅了していました。それは，以下のような感想を見てもよく分かります。

◆「コンサート会場で聴くような演奏を，並木中等で聴くことができ，とてもよい経験になった。」 ◆「弦楽だけで演奏しているのに，知っている曲を再現できていて，やっぱり本物は違うなと思った。」

披露してくださった曲目は，「**青く美しきドナウ**」のように小中学校の音楽の授業で鑑賞したことのある曲や，「**ハリー・ポッター・メドレー**」のように生徒にとって馴染みの深い曲ばかりで，約1時間のプログラムがあっという間でした。最後には質疑の時間と共に，先生方から**弦楽アンサンブル部**に音の出し方を**レクチャー**していただく時間もとることができました。プロの先生方からアドバイスを受けられるのは貴重な機会。生徒たちの緊張しながらも喜び，**感動している姿**がとても微笑ましかったです。

今回のように芸術に関する演奏や作品を鑑賞することは，興味の有無や関心の高低の枠を越えて，**人の心を動かし，「豊かな情操」を養う**ことにつながります。これは，目に見えないものであるが故に，人の内面を深く厚みのあるものにする効果があり，これぞ，校長先生が提唱している**AAL（アート・アクティブ・ラーニング）**を具現化したかたちの一つだと思います。知・徳・体をバランスよく育成していくためにも，並木中等では，こうした機会を今後も大切にしていきたいと思います。

